

有楽町数寄屋橋から駿河台南甲賀町へ 3



数寄屋橋付近の新永間市街線高架橋の風景 (絵葉書) 1910年代 (大正初期) 頃?

有楽町数寄屋橋から駿河台南甲賀町へ 4

創立者3名を中心とした個人的な「莫大な借金」の末、南甲賀町校舎へ移転
(校地は借地だったが、本学初の自前の校舎)



ニコライ堂から見た南甲賀町校舎 (矢印で示した中央左側の建物)

有楽町数寄屋橋から駿河台南甲賀町へ 5

- **南甲賀町校舎への移転**
神田区駿河台南甲賀町
11番地 約400坪
(現 NTT駿河台ビル付近)
- **竣工 1886年12月**
- **建設費 12,360圓 (当時)**
- **校舎のほか学内に学生
200名収容の寄宿舎
(神田界限ではここだけ)**
- **設計者 岸本辰雄校長**



地方出身者の受入に有利



南 甲 賀 町 校 舎

南甲賀町校舎から駿河台校舎へ 1

- 1886年（明治19年）12月11日、南甲賀町校舎移転開校式が盛大に開催された。（慶応義塾 福沢諭吉も出席）
- 南甲賀町校舎は、移転初年度から、座席が不足し、学生が立って授業を受けざるを得ないほどの盛況
- 学生数増加へ対応するため、竣工2年後の1888年（明治21年）には、早くも増築工事に着工
- 1903年（明治36年）8月25日、明治法律学校は、専門学校令に基づき、「明治大学」と改称（大学と名は冠しても法的には「専門学校」という位置づけ）
- このような状況の下、同じ駿河台南甲賀町14・15・16番地の旧小松宮邸3,759坪の賃借が実現（現在のリバティタワー付近。元は旧小松宮家の馬場、当時は東京鉄道（都電のルーツの一つ）の運輸課出張所・電車庫として使用されていた。※この土地を1916年（大正5年）に購入した。）

ニコライ堂の建設現場から撮影された駿河台キャンパス 校地の前身 旧小松宮彰仁親王の邸宅(豪華な洋館)



(現在の「アカデミーコモン」付近) 『明治・大正・昭和 東京写真大集成』より

旧小松宮彰仁親王邸 付近の古地図

市郡 東京全図(1891年)より抜粋



付近でも際立って立派な洋館(現 アカデミーコモン付近)と道路(現 吉郎坂)を挟んで配置された旧小松宮家の「馬場」(現 リバティタワー付近)

南甲賀町校舎から駿河台校舎へ 2

1911年(明治44年)10月14日 **創立30周年記念
及び校舎新築落成移転式**を駿河台校舎で挙行



創立30周年を契機に校舎新築落成なった「駿河台校舎」 **現在の校地**

明治大学を襲った二大事件

1 初代記念館、失火により全焼

創立30周年を祝った翌1912年(明治45年)3月5日午後11時半頃、初代記念館は、瓦斯暖炉からの失火により全焼
新築後、半年も経たずに消失した「幻の記念館」
ただし、火災保険に加入していたため、基本金の一部を流用し、すぐさま二代目の記念館を再建(1912年(大正元年)10月再建) ※ 同年7月30日明治天皇崩御により改元(大正)

2 創立者・初代校長 岸本辰雄先生急逝

1912年(明治45年)4月4日午後3時頃、明治法律学校の創立者で初代校長である岸本辰雄先生が、市電で駿河台校舎へ向かう途中、車中で脳溢血で倒れ死去(奇しくも倒れた場所は、明治大学発祥の地である「数寄屋橋」であった。)

初代記念館、失火により5か月で焼失



初代記念館 1911年(明治44年)10月～1912年(明治45年)3月

有楽町 数寄屋橋交差点の「東京市電」

岸本辰雄先生、市電車中で急逝の現場付近 絵葉書倶楽部HPより

